



2024年4月10日

各 位

会 社 名 KDDI株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 高橋 誠
(コード：9433 東証プライム市場)
問合せ先 コーポレート統括本部
総務本部長 中里 靖夫
(TEL. 03-3347-0077)

通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ

当社は、2023年5月11日に公表しました2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の業績予想に関し、下記のとおり修正することを決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 修正の内容

2024年3月期 連結業績予想値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株 当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,800,000	1,080,000	680,000	320.35
今回修正予想 (B)	5,800,000	950,000	635,000	299.91
増減額 (B-A)	—	△130,000	△45,000	△20.44
増減率 (%)	—	△12.0	△6.6	△6.4
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	5,671,762	1,077,393	679,113	311.01

(2) 修正の理由

当社連結子会社であるKDDI Summit Global Myanmar Co., Ltd.が保有するミャンマー国営郵便・電気通信事業体(MPT)に対するリース債権について、2022年4月に開始されたミャンマー政府によるドルの兌換規制の状況が改善されていないことと、2024年3月期時点でミャンマー通信事業の営業赤字が継続していることから、回収が遅延しているため、リース債権に対する引当1,050億円を計上する見込みです。

このほか、低稼働通信設備の減損・撤去引当等250億円を計上する見込みです。これらの影響により、営業利益の通期見通しを1兆800億円から1,300億円減益の9,500億円に修正しました。

また、これに伴い、親会社の所有者に帰属する当期利益についても、上記の通り修正しました。

これらは一時的に業績を悪化させることとなりますが、外部環境変化に柔軟に対応し、2025年3月期以降の持続的成長を着実にするためのものと捉えています。また、現金支出を伴わない会計処理であり、2024年3月期のキャッシュフローへの影響はありません。なお、ミャンマー通信事業以外の業績については、順調に進捗しております。

※前期実績（2023年3月期）について

IFRS第17号「保険契約」を当連結会計年度の期首から適用し、基準移行日である2022年4月1日時点に基準変更による累積的影響額を反映しております。これに伴い、前期実績については当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。

※将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上